

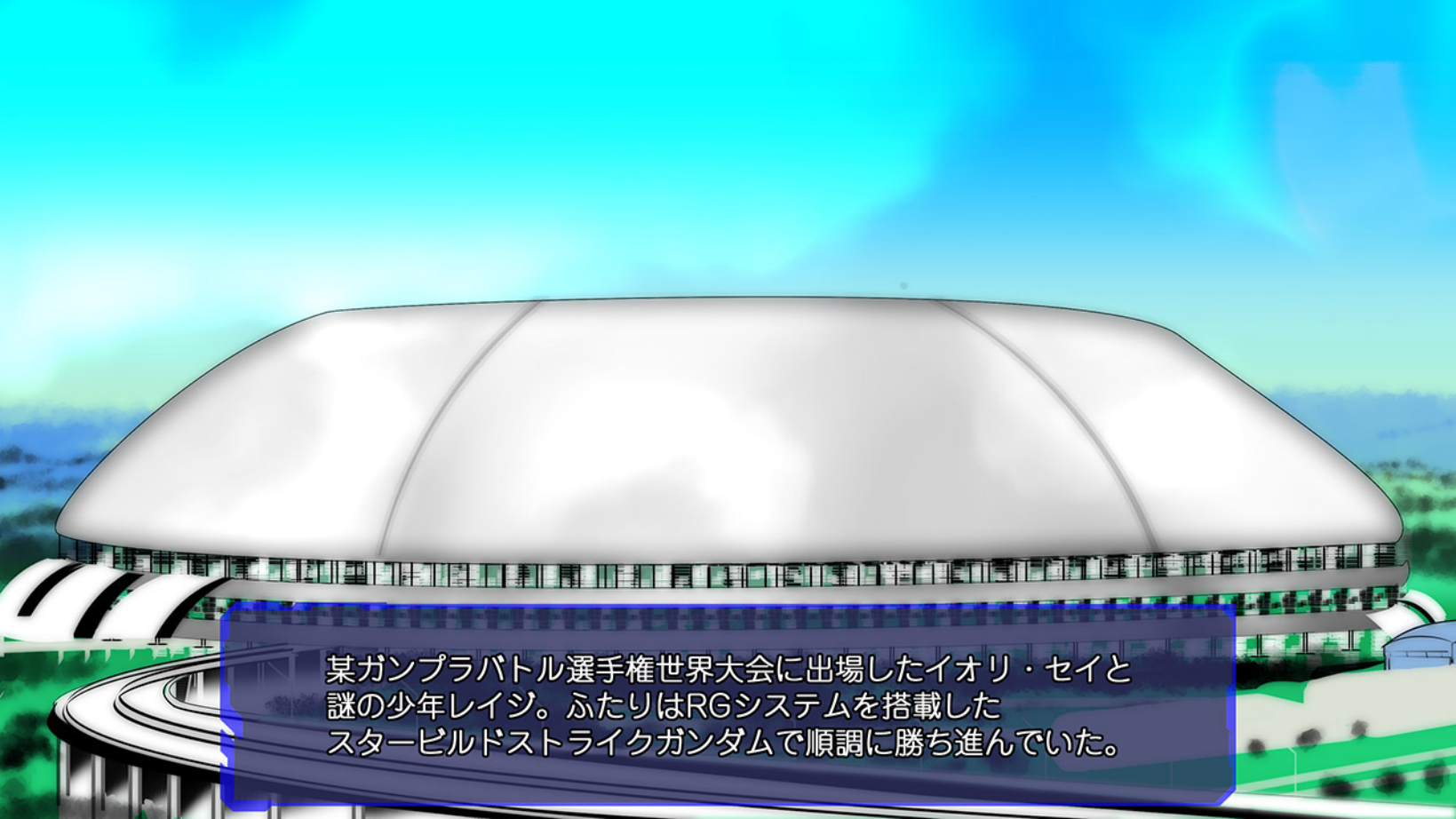


ビュルドファイトर्स

BYULD FIGHTERS

ORIENTANAL.
オリエンタルアーナル





某ガンプラバトル選手権世界大会に出場したイオリ・セイと謎の少年レイジ。ふたりはRGシステムを搭載したスタービルドストライクガンダムで順調に勝ち進んでいた。



【セイ】
僕たちはアイラさんと対戦。激闘の末これに勝利した。



試合後にチームから解雇されたアイラさんを大会会場の通路で発見。僕とレイジは滞在する部屋に彼女を保護することにした。
フリーダムな性格のレイジにアイラさんが加わった共同生活これで何も起きないはずがなく…

第一話

アイラの恩返し





【レイジ】

「ちょっといいか？ アイラのことなんだけどさ」

【セイ】

「丁度よかった。二人して買い食いし過ぎだよ僕お小遣い
もうないよ……」



【レイジ】

「それだけどさ、食費をアイラが体で払うそうなんだ」

【セイ】

「へえ…… は？ どういうこと？」



【アイラ】
「ふつつか者ですがよろしくお願いします！」



【レイジ】

「日本には食事や宿を恵んでもらったら体で払う習慣があると前にラルさんから聞いた気がするって、それをあいつに話したらシャワー浴びて準備万端なんだ」



【セイ】
「ちよっっ！ そんな習慣聞いたこと無いしそんな根拠のない知識をアイラさんに実行させるなんて無責任すぎるよ」



【レイジ】

「? 俺だってセイの家に泊まった時はリン子ママに滞在費を体で支払ってるから無責任じゃないぞ」

【セイ】

「あ、そうなんだ…って なんの話それ!？」

イオリ模型

IYORI HOBBY SHOP

—2週間前 深夜・イオリ模型店



【レイジ】
「リンコさんこっち来て、俺まだ済んでないから」
【リンコ】
「だ、駄目よ…レイジくんが飛ばした精液拭き取らないと。ああ…若いからこんなにいっぱい…」



【リンコ】

「ああだめ！ レイジくん！ セイが起きちゃう」

【レイジ】

「ごめんリンコさんの口が気持ちよすぎて我慢できなかったんだ次はなるべくこぼさないように出すから」



ダダダダ

【リンコ】

「はぁっ！！あっ！んんっ！！」

【レイジ】

「うっ、お尻、昨日とちがってすんなり入ったぜ」

A blue-haired anime-style character is shown in a suggestive pose, leaning forward with her hands behind her head. The scene is overlaid with large, stylized sound effects. A large red sound effect 'ドクドク' is on the left, and a large pink sound effect 'ドクドク' is at the top. Smaller sound effects 'いっ' and 'ん' are near the character's chest.

ドクドク

ドクドク

【リンコ】

「はぁんっ、ううっ 早く…済ませて…ね……」

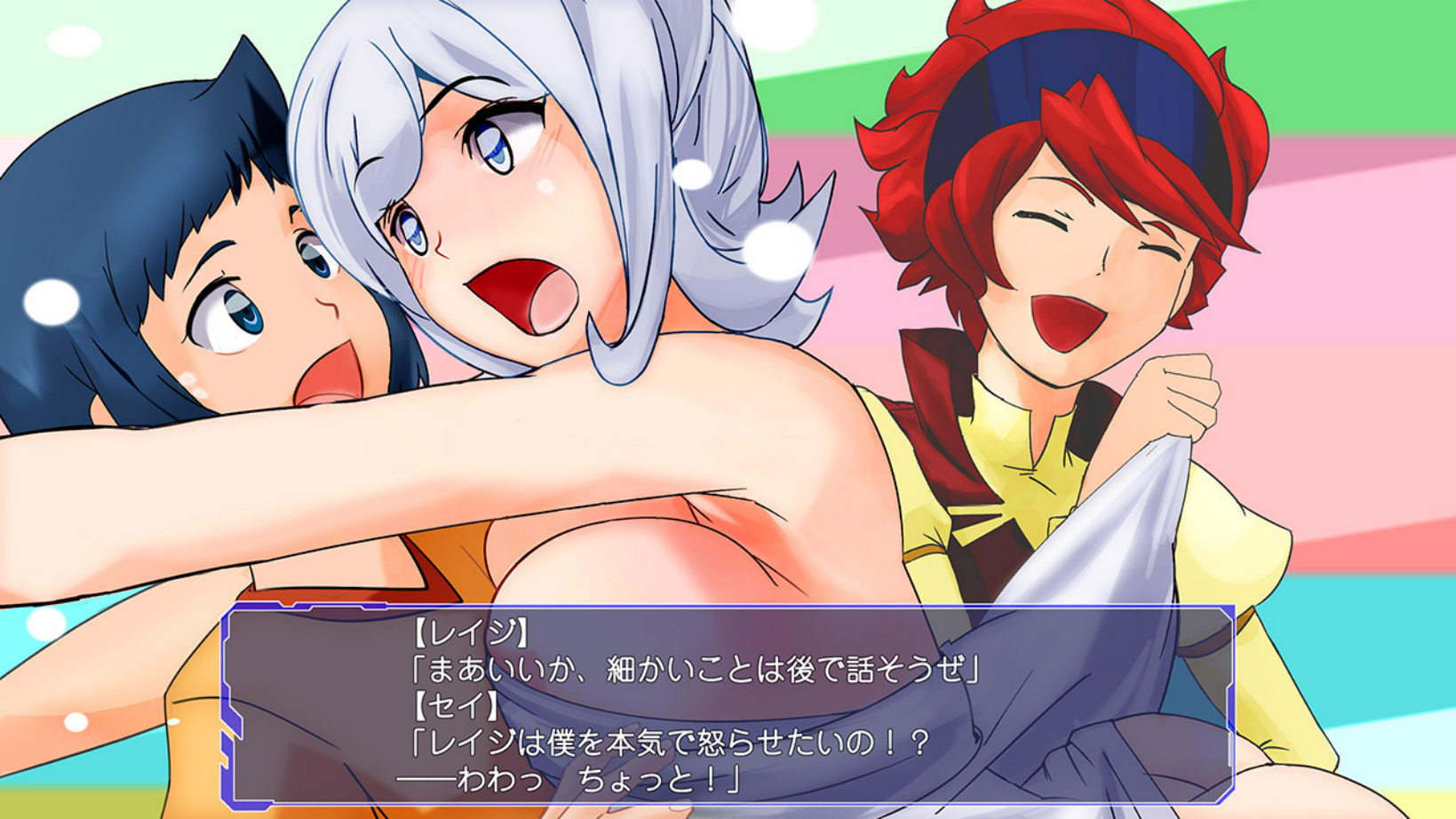


【セイ】

「もう二度と僕の家泊まらなくていいから」

【レイジ】

「えーっ どうしてそうなるんだよ仕方ないな…じゃあ次からはチナの家にも泊めて貰えるか頼んでみる」



【レイジ】

「まあいいか、細かいことは後で話そうぜ」

【セイ】

「レイジは僕を本気で怒らせたいの!？」

——わわっ ちょっと!」



【セイ】

「あ、アイラさんはレイジに騙されてるだけなんだって！
こんなこと止めて、ね？」

【アイラ】

「でも……ほら、こんなに硬くなってるよ…!？」



【アイラ】

「このままじゃかわいそう。恩返しするね！」

【セイ】

「徹夜続きでちょっと敏感になってるだけだから
ああん、だめだって」



【セイ】

「ああっ離して！ やっぱりこんな事できないよ」

【アイラ】

「はあっ！ あっ！！ に入った♡」ヌプ



【セイ】

「だめだ！ こんな…すぐ出る…出ちゃう！ 離れてっ」
ヌッポヌッポヌッポヌッポ

【アイラ】

「始めたばかりだし1回目、このまま…いいよ、ああん」



【セイ】
「あっ！ あああああ！！」
【アイラ】
「ああっ はぁ はぁ」




【アイラ】

「ちょっ…！ どうしてレイジが入ってくるの?!」

【レイジ】

「ま、前にお前の肉まん食べた分の借りを俺の体で返すからな」



【アイラ】
「ああん もうっどうしてこうなるの？
馬鹿レイジ……！ あっ…ああっ！」




【セイ】
「はっあ アイラさんごめっ僕 また…出ちゃう」
【レイジ】
「俺も出る… いいかアイラ」



【アイラ】
「いいよっ…いっぱい出して…っ！あ……
……っわたし…も…」

第一話 END



—翌日・近くの公園

【セイ】

「あわわわ、トイレ、トイレ、急がないと漏れちゃう…」

第二話



ククク



トイレのミホシさん




ジャー——

【セイ】

「はあー、ギリギリセーフ！ 漏れてなかった」

【ミホシ】

「間に合って良かったわね。はい、ハンカチ」



【セイ】
「ミホシさん？ ここ男子トイレでけど…」
【ミホシ】
「もちろんセイくんと二人きりになるためよ今日こそ
RGシステムの制作方法教えて貰いますからね！」

グ
グ

【ミホシ】
「教えてくれたらあ…『これ』触らせてあげる。ほら、
ガンブラじゃなく男の子は『これ』も好きなんですよー」
【セイ】
「ふ、服を着て下さい！ そんな事しても教えられません」



【ミホシ】

「はあ？ なんで？ アイドルがここまでしてるのに拒否するかな…フン、なにさ。このまま大声出してもいいのよ？ 脅されて無理矢理トイレに連れ込まれたって訴えるから！！ ガンプラバトルどころじゃなくなるかもね」



【セイ】

「脅しているのはミホシさんのほうじゃないですか…」
（アイラさんに続いてミホシさんのおっぱいも見てしまった。しかしこの状況では素直に喜べない…いや、僕はもう童貞じゃないんだ女の人とだって対等に戦えるっ！）



びんびん

【セイ】
「おかしいですよ！ ミホシさん！ そんな……そんな
自分勝手な大人…修正してやる！」
【ミホシ】
「ひいあぁっ？！！」

A group of anime-style female characters with shocked expressions. The central character has glasses and a wide-open mouth. To her left, another character has a similar expression. To her right, a character with a dark, futuristic-looking outfit looks on with a serious expression. The background is a dark, reddish-brown color.

※お試し版はここまでとなります。お疲れさまでした。